

# 平成 26 年度事業報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日  
至 平成 27 年 3 月 31 日

公益財団法人 致道博物館

平成 27 年 6 月 15 日

## 概況

公益財団法人に移行してから3年目の今年度は下記のとおりの事業を実施した。

公益目的事業1の重点事業(1)の重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業(国庫・山形県費・鶴岡市費補助で実施)では素屋根掛け工事が当初より三ヶ月遅れて5月中旬に完成し、解体工事が本格的に行われた。解体調査により間取りや外壁ペンキなどの新知見が得られ、構造骨格組みが予想より堅牢であったため、半解体修理とし、北側に1m曳き屋とすることを決定、古材補修などの木工事や基礎解体などの工事を実施した。11月からは当財団理事を中心として保存活用計画検討会を行い、また1月には建物敷地内の試掘調査を実施した。

保存管理事業では例年のように指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどを行い、また博物館資料も状況に応じて適正に保存管理に努めた。

教育普及事業では、講演会やシンポジウム、講座、教室などに延べ1,394名が参加受講された。7月、日本近世文学研究者11名が全国から集まり研究発表と講演・シンポジウムを開催、これは庄内藩主であった酒井家9代忠徳の和歌俳諧の文芸史料が数多く残されており、且つ当時の京都歌人で公家の日野資枝や冷泉為泰などとの交遊関係史料も残されていることが当館で行われた理由であった。本年度新たに開講した『大泉叢誌』を読む講座は、昨年度発刊した『大泉叢誌』を使いながら解説と古文書に親しみ、読み方を知る内容で好評だった。半世紀以上も前から行ってきた少年少女古典素読教室、夏休みの「ミュージアム・ハンター」「ミュージアムで絵を描こう」など小中学生を対象とした事業も行った。

公益目的事業2の展示事業では、企画特別展(山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催)12件、グループ展3件、ロビー展4件の展覧会を実施した。併せてこれらの展覧会に関連して列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演など実施し、好評を博した。企画特別展で一日当たりの入館者が150名以上だったのは、「抽象画への招待～色と形～」(150人/日)、6月から7月にかけて山形県内で開催されたディスティネーションキャンペーンに協賛しての特別展「国宝太刀銘信房作と国宝太刀銘真光」(156人/日)、「現代日本画家佐々木曜展」(176人/日)、「絵画史料にみる庄内」(186人/日)、御隱殿で開催した「鶴岡雑物語」(154人/日)であった。特に「鶴岡雑物語」は昨年度の約2倍の入館者数であった。これは例年の大名伝来の雑・雑道具の展示とともに東京雑道具研究家の川内由美子氏収集の極小雑・雑道具2万点を特別展示し、併せて川内氏から積極的PR活動をしていただき、またインターネットによる話題作りも功を奏したのだろうとみられる。本年度の入館者は昨年度より僅かに微増の43,800名余りとなった。

公益目的事業3の国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存活用事業は、平成25年度より鶴岡市から指定管理者の指定を受けて行った事業である。施設保存管理事業では外構・建造物の適正な管理を行い、展示事業では御入間で論語の致道館流素読をBGM風に常時放送、普及教育事業では「致道館文化の学習と庄内論語の素読」と題して教育体験講座を行い、好評を博した。他団体主催の講座や研修会、また学校の課外授業としての当施設利用に協力し、文化継承の役割を担う施設として運営した。最後に、当財団の事業推進に尽力された地主正範元理事が4月25日、11月11日には下妻卓雄元監事、3月20日には金井功弥元評議員が逝去された。謹んでご冥福をお祈り申し上げる。

以下、各事業の詳細を報告する。

### 1. 公益目的事業1 (事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

#### 1-1 重点事業

##### (1) 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業

昨年度に引き続き設計監理は公益財団法人文化財建造物保存技術協会(東京)と、工事請負業者は㈱山口工務店と契約締結し、仮設工事の素屋根掛け工事が当初より3ヶ月遅れて5月中旬に完成し、本格的に解体工事に入った。詳細な解体工事調査によって、一階間取りや新たな出入り口、段差のある床板、外壁ペンキ色などが判明した。また、文化庁調査官の指導により庁舎の解体工事を全解体から半解体とし、は明治17年の創建当初の建物に復すこととなった。また、建物が県道に近接して建っているため、落雪や県道側の出入り口の復原等の自由により、現状の位置か

ら北に1メートル移動することとし、12月から古材の補修や補強基礎解体工事を実施した。また昨年度に引き続き当事業に伴う寄付募集を継続し多くの方々・法人各社からご寄附をいただいた。本庁舎の保存活用検討会が4回開催(11/21(18名)、12/16(18名)、1/30(16名)、3/26(15名))され、1月下旬には庁舎敷地内の埋蔵文化財の試掘調査(1/20~1/27)を行い、移築時の礎石状況江戸時代の遺構建物を検出した。

## (2) 文化資源調査事業

当館が所蔵する歴史資料などを調査研究し、その成果を公益性の高い文化資源として社会に還元するために、『大泉叢誌』の筆写・解読・点検・データ入力を実施して活字化を実施、また、庄内藩主酒井家に伝來した永禄年間から明治までの古文書2,350点を解読し内容別に整理分類し直して、「出羽酒井家文書目録」として刊行した。

## 1-2 保存管理事業

### (1) 指定文化財の保存管理事業

#### ① 重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・重要文化財旧渋谷家住宅の防災設備(自動火災報知設備・消火設備・避雷設備)、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

#### ② 名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

#### ③ 国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

#### ④ 史跡松ヶ岡開墾場内の旧一番蚕室(松ヶ岡開墾記念館)・旧四番蚕室(庄内農具館)の防災設備の保守点検を実施した。

### (2) 博物館資料の保存管理事業

#### ① 歴史的建造物等の保存管理

御隠殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備等の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

#### ② 博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装資料・冊子資料の補修・修理、作品資料の額装、美術工芸品や庄内竿・民具等の手入れなどを実施した。資料台帳の整備(コンピューター入力)を進めた。

#### ③ 松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の重要有形民俗文化財「米作り用具」収蔵庫や旧一番蚕室の「松ヶ岡開墾記念館」や旧四番蚕室の「庄内農具館」に展示収蔵している博物館資料を日常管理で実施した。

## 1-3 展示事業

### (1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などをを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

## 1-4 教育普及事業

### (1) 講演会・講座事業

#### ① 公開講演会

平成27年3月14日(土)於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)東京友の会の集いを開催  
講師 辻原 登氏(株・神奈近代文学館長)「江戸川・金魚池の思い出 芭蕉と庄内」 参加者76名

#### ② 講演・シンポジウム(日本学術振興会科学研究補助金による4つの基盤研究会と共に)

7月26日(土)於:講座室 テーマ「藩主の交遊—和歌・俳諧がむすぶ人と地域—」

基調講演 井上敏幸(佐賀大学名誉教授)「藩主酒井忠徳の文芸資料の価値」  
シンポジウム・研究発表

平林香織(岩手医科大学教授)「藩主酒井忠徳公の文芸資料の価値」  
伊藤善隆(湖北短期大学教授)「八戸藩主南部信房の俳諧活動」  
神作研一(国文学研究資料館教授)「<sup>じげ</sup>地下から地方へ」  
丹羽謙治(鹿児島大学教授)「藩主島津斉宣の文芸活動」  
錦 仁(新潟大学教授)「藩主酒井忠徳公の所蔵資料—日野資枝  
に関する資料の一部—」  
稻葉有祐(立教大学教授)「備中松山藩主安藤冠里のサロン—「闘  
鷄句会」をめぐって—」

参加者 26 名

\*前日の 7 月 25 日(金) 日本学術振興会科学研究の関係者が「近世文学研究の現状と可能  
性」のテーマで共同研究会を実施、講座室を貸与した。

③土曜講座

8月 9日(土) 阿部明彦氏(山形県歴史センター副館長)「土偶～縄文時代の土人形」 参加者 36 名  
9月 7日(土) 平井鉄寛氏(鶴岡アートフォーラム准学長)「初期写真から見た山形の写真師たち」 参加者 18 名  
10月 4日(土) 岩鼻通明氏(山形大学農学部教授)「山形県の即身仏」 参加者 33 名

④中国古典講座

4月～12月の毎月 7日・17日夜 14回開催  
内容 中国古典「論語」・「徂徠先生答問書」の講義並びに「詩經」の素読  
講師 犬塚幹士(当館理事(講義)) 水野貞吉(内南洲会理事長(素読))  
受講生 18名(一般) 延出席人数 175 名

⑤『大泉叢誌』を読む講座

5月 24日・8月 2日・9月 20日・11月 22日・1月 24日 5回開催  
内容 昨年発刊した『大泉叢誌』を使いながら「出羽庄内名所旧跡伝来記」「羽州庄内縁起」「  
御系譜参考」「大山松倉山にて五輪掘出候事」「大泉事跡考」「庄内可成談抄」「奥羽巡  
見記抄」等の原文一部を解説解説  
講師 菅原義勝(学芸員) 受講生 33名 延出席人数 80 名

(2) 出版事業

- ①『親子で楽しむ庄内論語』第4版(5000冊) 平成26年10月1日発行
- ②館報「致道」51号(3000部) 平成27年2月9日発行
- ③『出羽庄内酒井家文書目録』(300冊) \*前述 平成27年3月31日発行

(3) 伝統文化普及事業

- ①各流合同茶会 5月 18日(日) 於:致道博物館内に4席 表千家・裏千家・遠州流・大日本茶  
道学会の合同茶会 参加者 438名
- ②少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共催) 5月下旬～8月上旬毎週土曜日・7  
月下旬～8月上旬毎日早朝 5:40～ 15回開催 『論語抄』の素読 6/29 史跡文化財巡り(酒  
田松山地区の文化財と史跡城輪柵跡の見学)  
講師 水野貞吉氏(致道館文化振興会議)・氏家登志雄氏(同左)・三矢正士氏(同左)・犬塚幹士  
(致道博物館)・酒井英一(同左)・本間豊(同左)  
受講生 21名(小学4年生～中学2年生) 延出席人数 289名

③やまがたアートライン事業の参加(主催 實行委員会/事務局 山形県県民文化課内)

\*夏休みこどもミュージアムめぐり 7月 19日～8月 31日

- ・スタンプラリー 7月 19日～8月 31日 参加した子どもの人数 66名
- ・ミュージアム・ハンター(博物館に展示しているものを見て触ってクイズに答える企画) 8/3  
参加した子どもの人数 15名
- ・ミュージアムで絵を描こう 7/17～ 参加者 6名

\*「東北文化の日」 10月 25日～11月 23日

・期間中の土日曜日祝日は小中学生の入館料無料

参加したこどもの人数 31 名

④姉様人形教室(姉様人形保存会主催)・刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)・庄内民俗学会例会に協力 於:致道博物館講座室

#### (4) 教育啓蒙事業

①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月・3月 (225日間)

解説員 16名 延活動人数 486名

②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月18日～8月23日

実習生／東北芸術工科大学生1名・福島大学生1名・帯広大谷短期大学生1名 計3名

実習内容／美術工芸品(掛軸・陶磁器・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、資料の整理と保存、拓本技法、写真撮影技法、資料修復と資料化、近隣文化施設見学

③博物館の実習体験(インターフィップの受け入れ) 10月1日～10月3日

実習生／羽黒高校生徒1名 実習内容／展覧会監視、博物館資料の移動整理

#### ④研修会の主な依頼

・鶴岡市新採教員初任者研修 7月28日(月) 受講新採教員 13名+主催者 5名

研修内容／庄内の歴史と文化・致道博物館の概要と主な資料

・酒田市書道連盟研修 10月26日(日) 受講者 22名

研修内容／日下部鳴鶴・西郷隆盛・副島蒼海等当館所蔵の書作品14点特別鑑賞と解説

・放送大学山形学習センター授業 11月2日(日) 受講者 20名

授業内容／庄内藩と海運—海を渡ってきた考古学資料—

⑥先賢を偲ぶ会 平成27年2月8日(日) 於:御隱殿、講座室(直会)

内容／挙式、講話・加藤徹三(致道博物館理事)「南洲翁遺訓と臥牛先生遺教に学ぶ」参加者35名

⑦東京友の会の集い 平成26年3月14日(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)(前出)

⑧博物館資料や郷土史関係等の相談助言 通年 相談件数17件

相談内容／書の解説・戦国時代の庄内・古地震・酒井忠徳俳諧資料・土屋竹雨『東華』・田中万春「新製天球星像図」・「孔子聖像図」・江戸時代の隠密・徳川家綱印判状・立谷沢川の砂金・陶磁器などに関すること

⑨庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力

⑩広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙 通年

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット(ホームページ)などを活用して周知をはかった。

### 1-5調査研究事業

(1)文化資源調査事業 (前出)

(2)山形県養蚕用具の補足調査

(3)庄内地方の歴史資料・考古資料・美術資料の調査研究整理

### 2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

#### 2-1 展示事業

(1)企画特別展示事業 (主催事業)

於:美術展覧会場 ☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催  
◇印:(公財)日本美術刀剣保存協会共催

① ☆山水画の楽しみ

4月1日～4月20日（20日間）

入場者数：一般 1,308名／児童生徒学生 57名／計 1,365名

人物画、花鳥画とともに東洋画の主要画題である山水画、そこには画人それぞれが内的精神を表現したり、自ら画法を研究し、独自の画風を打ち立てたりしている。柔らかで広がりある世界をあらわした作品や険峻で荒涼とした世界を描いた作品など、江戸時代中期から近代にかけて庄内出身の画人の作品を中心に全国的に著名な池大雅の作品も併せ、24点を展示紹介し、山水画の数々を楽しむ展覧会とした。

② ☆抽象画への招待～色と形～

4月22日～5月15日（24日間）

入場者数：一般 3,192名／児童生徒学生 409名／計 3,601名

絵画の中の抽象画、その色と形は画家の想像力と知性によって描き出される。具体的な物や情景を簡素化したり変形したり、宇宙的なものを造形化したり、その表現するところは様々です。本展では三軌会絵画部長であった坂梨心澄（1904～1997）や同会員吉田嵩（1942～）の作品（100号）を中心に、鶴岡市出身の同会員尾形美和（1942～）の心象画も併せて23点を展示鑑賞した。

③ ☆こころの森美術館「国際版画展」

5月20日～6月12日（24日間）

入場者数：一般 2,570名／児童生徒学生 109名／計 2,679名

京丹後市にある「NPO法人こころの森」の美術館ツアーと題する版画展巡回。版画家幻一（ほらしげじゅう一）を中心とした国内外在住の版画家の作品50点余を展示鑑賞した。笑顔のひろがるような温もりある空間の中で芸術の楽しさを感じていただいた。期間中の2日間、ワークショップを開催した。

④ ☆ディスティネーションキャンペーン 特別展「国宝太刀銘信房作と国宝太刀銘真光」

6月14日～7月17日（34日間）

入場者数：一般 5,092名／児童生徒学生 217名／計 5,309名

6月より山形県内で開催されたディスティネーションキャンペーン、これに協賛して当館所蔵の旧庄内藩酒井家に伝わってきた国宝太刀二振をはじめ重要文化財短刀銘吉光、朱塗黒糸威二枚胴具足などの戦国の世を彩った名品の数々のほか、重要文化財禅院額字潮音堂、藩校致道館祭器、重要有形民俗文化財コレクション、古絵図、典籍類など普段公開することが少ない指定文化財を展示し、山形県でも特に庄内地方の歴史文化の特色を紹介する展覧会とした。

⑤ ☆◇日本名刀展シリーズ平成26年新作名刀展—現代の刀工と刀職—

8月1日～8月20日（20日間）

入場者数：一般 3,314名／児童生徒学生 456名／計 3,770名

日本名刀展シリーズ第37回展。毎年6月に東京・刀剣博物館で開催する同展の巡回展で、刀剣関係の最も権威ある全国展覧会。現代の刀工・刀職による刀剣と刀装具の入賞入選作31振、鐔・拵・柄前・白銀19点を展示、全国の現代刀工・刀職たちが時代的特色や流派の特徴などを取り入れながら作刀制作した作品の工芸美を鑑賞するとともに長い歴史に培われた日本人の美意識と今に息づく伝統の技を紹介した。期間中、銘切の実演を実施した。

⑥ ☆現代日本画家 佐々木曜展

8月22日～9月24日（34日間）

入場者数：一般 5,749名／児童生徒学生 261名／計 6,010名

日展会員で審査員も務めたこともある佐々木曜（東京生まれ、1941～）は大学卒業後、山田申吾、高山辰雄に師事し、昭和44年日展初入選、以後何度も特選を受賞、現代日本画壇の重鎮として活躍している。人物・風景などをモチーフとした幻想的で精神性の高い作品23点を展示鑑賞した。ワークショップ、ギャラリートークも開催、好評を博した。

⑦ ☆絵画史料にみる庄内

9月27日～10月30日（34日間）

入場者数：一般 6,112名／児童生徒学生 218名／計 6,330名

庄内の名所旧跡として古くから描かれてきたもの、四季の移り変わりを農耕図に映じたもの、時代に生きた人々の姿を描いたものなど、江戸時代から明治時代にかけて描かれた絵画史料29点を紹介、美術的に鑑賞するとともに昔の暮らしや習俗、歴史事象など歴史資料としての昔の庄内を視覚的に知る展覧会とした。列品解説も実施した。

⑧ ☆庄内の工芸家 本間舜華と畠中鳳山

11月9日～11月29日（21日間）

入場者数：一般 2,203名／児童生徒学生 387名／計 2,590名

漆工芸家・本間舜華（1894～1991）は酒田市出身で東京美術学校教授辻村松華に師事、以後、帝展・日展・伝統工芸展で活躍し受賞も多く、伝統的な日本の漆工芸の作家として高く評価されている。竹工芸家・畠中鳳山（1904～1991）は遊佐町出身で東京・飯塚鳳斎に師事、研鑽を積み、晩年には優秀技能者として労働大臣表彰を受けている。この庄内出身で伝統に根ざした二人の工芸

家の作品 50 点余を紹介した。

⑨ ☆雪・月・花 一絵画の魅惑一

12 月 12 日～H26. 1 月 13 日 (22 日間)

入場者数:一般 520 名／児童生徒学生 27 名／計 529 名

「雪・月・花」は日本の芸術美術の特質の一つとして捉えられており、自然の美しい景色を指し、また伝統的日本の美を連想させる。この語句をキーワードにした江戸時代から近代の水墨画や文人画、近現代の日本画の作品 27 点を展示、自然に対する時代的見方や各画人画家の捉え方を知りながら日本絵画の味わいと楽しさを感じられる展覧会とした。

⑩ ☆犬塚甘古・一瓢「書と刻字」

1 月 16 日～2 月 17 日 (29 日間)

入場者数:一般 746 名／児童生徒学生 207 名／計 953 名

庄内藩士であった犬塚甘古(本名・又兵、1838～1912)とその長男犬塚一瓢(本名・一貞、1858～1944)は、ともに碩学として著名である。甘古は、福島・愛媛・愛知の中学校や師範学校で図画・習字・歴史の教鞭をとりながら考古学の研究に没頭、隸書も能くし、また、一瓢は長く酒井伯爵家に勤め、詩文章、刻字を能くし多くの作品を遺している。親子の書や刻字の作品 35 点を展示鑑賞するとともに、その人となりを知る機会とした。

⑪ ☆庄内藩酒井家美術資料展－歴代藩主の書画

2 月 20 日～3 月 30 日 (38 日間)

入場者数:一般 4,562 名／児童生徒学生 210 名／計 4,772 名

徳川四天王の一人・酒井忠次を祖とする酒井家は、江戸時代初期の元和 8 年(1622)藩主として庄内に入部、以来 250 年間近く庄内地方を領してきた。酒井家 3 代忠勝から 14 代忠宝までの庄内藩主歴代の書や絵画の作品 32 点を展示紹介した。

⑫ ☆鶴岡 雛 物 語 (於:御隱殿)

3 月 1 日～4 月 3 日 (34 日間)

入場者数:一般 4,992 名／児童生徒学生 250 名／計 5,242 名

城下町鶴岡に伝わる古典雛を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識するため、旧庄内藩主酒井家や市内旧家で所蔵している江戸時代中期から明治時代にかけての雛人形や大名家にお輿入れに持参した雛道具、また本展は川内コレクションの極小の雛と雛道具 2 万点を特別展示、併せて鶴岡市内 10 店舗の菓子店の協力によって当地方独特の雛菓子も一堂に展示し、子供の健やかな成長を願って開催した。期間中、ギャラリートークや雛菓子づくりなどのイベントを実施した。

(2) 個展・グループ展示事業

於:美術展覧会場

① 第99回 白土会展 (共催)

7 月 19 日～7 月 29 日 (11 日間)

入場者数:一般 1,288 名／児童生徒学生 151 名／計 1,439 名

白土会は、昭和 35 年創立された新庄市・最上地方を中心に北村山地方も含めた美術団体。油絵、版画、彫塑 21 点を展示鑑賞した。

② 第9回 美を謳う 艸展

11 月 1 日～11 月 7 日 (7 日間)

入場者数:一般 1,460 名／児童生徒学生 333 名／計 1,793 名

洋画家故今井繁三郎を慕う鶴岡・山形・東京在住の人たちで結成されたグループ。8 名による油絵・書の作品 40 点と特別展示の故今井繁三郎作品 2 点を展示鑑賞した。

③ 第35回 鶴岡書道会会員展 (共催)

12 月 1 日～12 月 9 日 (9 日間)

入場者数:一般 407 名／児童生徒学生 10 名／計 417 名

昭和 9 年に設立された鶴岡市を中心とする書道団体。会員の作品 31 点とともに鶴岡市と友好都市の江戸川区の書道連盟幹部の贊助作品 5 点を展示鑑賞した。

(3) ロビー展示事業 ※主催は各団体

於:講座室・ロビー

① 第11回 庄内姉様人形教室受講生作品展

10 月 25 日～10 月 27 日 (3 日間)

太田正子氏を講師とする庄内姉様人形保存会が主催する同教室の受講生 30 名が制作した作品を展示、江戸時代から伝えられてきた庄内姉様人形(紙人形)をピアールするとともに受講生の作品発表の場とした。

② 第7回 「砂の会」作品展

11 月 1 日～11 月 4 日 (4 日間)

加藤景一氏主宰する「砂の会」会員が制作した作品を展示、砂を素材に絵画的作品や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

- ③ 第8回 寒蘭展（鶴岡東洋蘭同好会と共に） 11月17日～11月24日（8日間）  
鶴岡東洋蘭同好会の一部会員が育てている日本蘭と中国蘭の寒蘭約20鉢を展示、東洋蘭の清楚な美と匂いを鑑賞した。
- ④ 第10回 東洋蘭展（鶴岡東洋蘭同好会・里仁館芳蘭会と共に） H27.3月17日～3月22日（7日間）  
日本春蘭と中国春蘭あわせて約120鉢、蘭に因む掛軸額装作品7点を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会と里仁館芳蘭会の両会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

## 2-2 教育普及事業

### （1）講演会・講座事業

- ①企画特別展列品解説、ギャラリートーク、ワークショップ、公開実演

5月31日（土）・6月7日（土）於：講座室 ワークショップ「墨筆で人の顔を描く」

講師 幻一（版画家）

参加者 26名

7月5日（土）・7月12日（土）於：展覧会場 列品解説「国宝太刀銘信房作と国宝太刀銘真光」

講師 本間豊学芸部長・菅原義勝学芸員 参加者 60名

8月3日（日）・9日（土）・10日（日）・16日（土）・17日（日）於：展覧会場「平成26年新作名刀展」

講師 上林恒平刀匠の銘切り実演

9月7日（日）於：展覧会場 ギャラリートーク「現代日本画家 佐々木曜展」 参加者 35名

於：講座室 ワークショップ「現代日本画家 佐々木曜展」 参加者 28名

講師 佐々木曜氏

10月5日（日）・19日（日）於：展覧会場 列品解説「絵画史料にみる庄内」 参加者 33名

講師 菅原義勝学芸員

3月1日（日）・21日（土）於：御隱殿 ギャラリートーク「鶴岡雛物語」 参加者 90名

講師 川内由美子氏（雛道具研究家）・酒井天美評議員

### （2）出版事業

- ①企画特別展図録目録の発行

### （3）広報事業

- ①広報活動 企画展の広報活動

各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、ダイレクトメール、インターネット（ホームページ）などを活用して周知をはかった。

## 3. 公益目的事業3 （事業内容～国指定史跡旧致道館（旧庄内藩校）の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業）

### 3-1 史跡旧致道館（旧庄内藩校）の保存管理活用事業

指定管理制度により鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用をはかった。

#### （1）施設保存管理事業

- ①外構管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防（駆）虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃浄化を行った。

- ②建造物管理

講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常掃除、防災設備（自動火災報知器・消火器）の保守点検を実施した。

平成25年度から夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練は1回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

#### （2）展示事業

- ①藩校致道館の沿革・教育・制度・釈奠・施設などに関する資料を展示、隨時キャプションの改訂を行った。

②御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語」素読をBGMで流した。

### (3) 普及教育事業

#### ① 藩校致道館教育体験教室・講座

8月1日(金)～3日(日) 於:旧致道館 「致道館文化の学習・論語素読体験講座」

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 受講生4名 延出席人数12名

#### ② 「孔子祭・致道館の日」式典(主催・致道館文化振興会議)

9月27日(土) 於:旧致道館 内容/ 祭典・祝文奉読・論語素読・講経・講演

児童生徒論語体験作文発表(収集殿) 参加者69名

#### ③ 研修会・講座(主催・各種団体)への協力

4月3日 於:旧致道館 鶴岡信用金庫新入職員研修会(主催・同金庫)

4月17日 於:旧致道館 新採用員初任者研修「鶴岡の教育精神と庄内論語の素読」(主催・鶴岡市教育委員会)

5月9日 於:旧致道館 東北文化公益大学課外授業「庄内の文化…庄内論語の素読」(主催・同大学)

8月1日 於:旧致道館 教員夏季研修講座「致道館の教育・文化・歴史と庄内論語」(主催・鶴岡市教育研修所)

8月29日 於:旧致道館 慶應義塾大学庄内セミナー「致道館教育と庄内論語」(主催・同大学)

11月20日 於:旧致道館 鶴岡市新採用員研修(主催・鶴岡市)

その他8団体が使用、講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 以上受講者数392名

#### ④ 学校授業への協力

学校の課外授業(「致道館学習」と「論語素読」を勉強)として使用

講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 鶴岡市内23校 29学年の児童 1,045名

#### ⑤ 来館者への藩校致道館に関する解説説明、相談助言

#### ⑥ 伝統文化の継承普及イベントに共催

10月19日 於:旧致道館 表千家同門会茶会

⑦ 旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』多く頒布した。

#### ⑧ 広報活動

新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼につとめ、主催事業については鶴岡市内の各学校を通じてチラシを配布して周知をはかった。

## 4. 収益事業1 (事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売)

### 4-1 収益事業

#### (1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作り販売を行った。

#### (2) 軽食喫茶店等の賃貸事業

軽食喫茶店舗(店名・庄内藩)として松岡物産㈱に賃貸した。

# 庶務の概要

平成27年3月31日現在

## 1. 役員に関する事項

順不同・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事12名)			評議員	上林 恒平	雁
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会評議員	〃	酒井 天美	鶴岡市産(株)会長
理事	犬塚 幹士	鶴岡市文化財保護審議会委員	〃	白幡 進	白幡委員会
〃	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会委員、ひとりお館長	〃	菅原 和明	田川地区高等学校会代表(鶴岡工業高校)
〃	加藤 徹三	前(財)北斗会評議員	〃	高橋 直人	(株)さちやか銀行鶴岡支店長
	酒井 英一	鶴岡市文化財保護審議会委員	〃	長坂 紳一	(株)港内銀行常勤監査役
〃	酒井 忠順	鶴岡市産業(株)社長	〃	難波 信昭	鶴岡市教育委員会教育長
〃	榎原 賢一	鶴岡市教育委員会社会教育課長	〃	橋本 政之	長道館文化振興会議会長
〃	田中 章夫	(公財)木彥美術館館長	〃	本間 謙三	(公財)木彥美術館副理事長
〃	田中 茂雄	(公財)東北振興修理工場理事長	〃	三浦 僕	鶴岡市観光連盟会長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会长		山田 鉄哉	松ヶ岡開拓振興事長
〃	三矢 正士	長道館文化振興会議事務局長	(監事2名)		
〃	本間 豊	(公財)放送博物館学芸部長	監事〃	氏家 昇一	榎原(株)代表取締役社長
(評議員15名)			〃	本間 厚	紳士
評議員	石原 純一	鶴岡觀光協会会长	(顧問2名)		
〃	奥山 康夫	山形県立博物館長	顧問	榎本 政規	鶴岡市長
〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫理事長	〃	田中 尚	前鶴岡市工業同組合理事長
〃	加藤 千明	(公財)山形美術館館長	〃	山崎 誠助	前鶴岡市芸術文化協会会长

## 2. 役員会に関する事項

### ■ 理事会

開会月日	議事内容	会議の結果
平成26年 6月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度事業報告の件</li> <li>・平成25年度収支決算の件</li> <li>・平成25年度国指定文化財管理費補助事業収支決算 及び平成26年度同事業収支予算の件</li> <li>・平成25年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業報告及び収支決算の件</li> <li>・重要文化財旧鶴岡警察署庁舎の保存修理による移設位置の件</li> <li>・重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画策定の件</li> <li>・平成25年度寄贈財産の基本財産組入の件</li> <li>・平成26年度定期評議員会開催の件</li> <li>・重要文化財旧鶴岡警察署庁舎修復保存活用事業及び施設環境整備事業における寄附金の当該事業への支出の件</li> <li>・平成25年度定期評議員会召集の件</li> <li>・理事及び評議員の補充候補者推薦の件</li> </ul>	可決 承認 可決 承認 可決 承認  可決 承認 可決 承認 
平成26年10月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事(第2期)入札参加指名請負業者選定の件</li> <li>・特定資産取崩の件</li> </ul>	可決 承認 可決 承認
平成27年 2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度補正予算の件</li> <li>・平成27年度事業計画の件</li> <li>・平成27年度収支予算の件</li> </ul>	可決 承認 可決 承認 可決 承認

平成27年 2月10日	・平成27年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業の件 ・その他	可決承認
平成27年 3月26日	・重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事（第3期）入札参加指名請負業者選定の件 ・その他	可決承認

■ 評議員会

開会月日	議事内容	会議の結果
平成26年 6月26日	・平成25年度事業報告の件 ・平成25年度収支決算の件 ・寄贈財産の基本財産組入れの件 ・理事補充選任の件 ・評議員の補充選任の件 ・理事会決議事項 ①平成25年度国指定文化財保管修理事業収支決算及び平成26年度同事業収支予算の件 ②平成25年度重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事報告並びに収支決算の件 ③重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事による設置位置の件 ④重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画策定の件 ⑤重要文化財旧鶴岡警察署庁舎修復活用事業並びに施設環境整備事業における寄附金の当該事業への支出の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了 可了了

■ 執行役会議 每月1回開催（5月9日、6月9日、7月24日、9月13日、10月3日、11月10日、12月9日、翌年1月9日、2月6日、3月10日）

■ 監査 6月6日（平成25年度会計監査）

### 3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛所	内 容	備考
4月 1日	山形県知事	平成26年度山形県博物館事業(既会議)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	平成26年度教育関係事業(既会議)共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	〃 共催負担金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	(公)山形県生涯学習文化財団理事長	平成26年度文化団体等連携支援(既会議)共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	〃 助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成26年度国指定文化財(既会議)管理費補助金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	〃	〃 (旧浪谷家住宅)	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園)	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西川郡役所・旧浪谷家住宅・酒井氏庭園) 〃	4月1日付で交付決定
〃	山形県知事	平成25年度国指定文化財(既会議)管理費補助事業実績報告書	5月7日付で交付額確定
〃	〃	〃 (旧浪谷家住宅)	〃
〃	〃	〃 (酒井氏庭園)	〃
〃	鶴岡市長	〃 (旧西川郡役所・旧浪谷家住宅・酒井氏庭園) 〃	

4月 1日	山形県知事	平成26年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書(旧警察署舎)	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市長	平成26年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書(旧警察署舎)	4月1日付で交付決定
〃	文化庁長官	計画変更承認申請書(平成26年度重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理事業)	4月1日付で承認
〃	〃	平成25年度国宝重要文化財等保存整備事業に関する顛末書	旧警察署舎保存修理事業
〃	鶴岡市長	平成25年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書(名勝酒井氏庭園ポンプ)	4月17日付で交付額確定
〃	〃	平成26年度鶴岡市文化資源調査保存事業申請書	4月25日付で交付決定
4月 2日	鶴岡市消防長	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書(旧渋谷住宅・民具の蔵)	4月4日付で検査済証交付
4月 15日	文化庁長官	計画変更承認申請書(平成26年度重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理事業)	
〃	鶴岡市長	平成25年度鶴岡市文化資源調査保存事業実績報告書	5月2日付で交付額確定
4月 30日	山形県知事	平成25年度山形県博物館事業(既存施設)共催実績報告書	5月30日付で交付額確定
〃	鶴岡市長	平成25年度教育関係事業(既存施設)共催実績報告書	
〃 3月31日付で提出	(既存)山形県生涯学習文化財団理事長	平成25年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月30日付で交付額確定
7月 3日	鶴岡市長	平成26年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
7月 18日	鶴岡市消防長	消防用設備等(自動火災報知設備)点検結果報告書	
8月 4日	文化庁文化財部長	係官派遣申請書(重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理事業)	
8月 24日	山形県教育庁	職員の派遣について(同上)	
10月 1日	文化庁長官	重要文化財のき損届について(重文旧西田川郡役所)	
〃	〃	重要文化財の修理届について(同上)	
10月 7日	鶴岡市長	平成26年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
11月 11日	文化庁長官	重要文化財の工事完了届について(重文旧西田川郡役所)	
〃	文化庁文化財部長	係官派遣申請書(重要文化財旧鶴岡警察署舎保存修理事業)	
11月 13日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備)点検報告書(使財公が開墾場内、畠番豪室及び取藏庫)	11月13日付届け出
11月 17日	文化庁長官	計画変更承認申請書(同上)	11月18日付で変更承認
〃	山形県知事	平成26年度山形県文化財保護事業費補助金事業計画変更承認申請書	11月18日付で変更承認
11月 23日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今後第1回消防訓練実施計画)	
12月 1日	文化庁長官	重要文化財のき損届について(重文旧西田川郡役所)	
〃	山形県教育庁	第3四半期末見込出来高調書(重文旧鶴岡警察署舎保存修理工事(第1期)工事)	
〃	山形県知事	平成26年度文化財管理費状況報告書(旧西田川郡役所・旧渋谷家住宅・酒井氏庭園)	
12月 25日	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書(既文化財旧渋谷家住宅内の宿泊裏で火焚き煙出し作業をするための承認申請書)	1月7日付で承認
平成27年1月 6日	鶴岡市長	平成26年度鶴岡市文化資源調査保存事業中間報告書	
1月 13日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第5回文化財防火デー・防火訓練実施)	
1月 26日	鶴岡市消防長	消防用設備等(動力消防ポンプ設備)点検結果報告書	1月26日付で受取

1月30日	文化庁長官	重要文化財(建造物)旧鶴岡警察署廈現状変更許可申請書	
2月3日	〃	平成27年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書	
3月31日	〃	平成26年度国宝重要文化財等保存整備費補助金実績報告書	
〃	山形県知事	平成26年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(旧警察署廈)	4月21時で確定通知
〃	鶴岡市長	平成26年度鶴岡市文化財保護補助事業実績報告書(旧警察署廈)	4月17時で確定通知

#### 4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
4月1日～27年3月31日	山形金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 18点
4月1日～27年3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 31点
4月1日～27年3月31日	鶴岡市教育委員会 (大宝館:郷土人物歴史館)	郷土人物資料展示として[斎藤清人]の資料として、刀剣押形、『豊前守藤原清人』、『特別展 山形の刀剣』計 3点
4月1日～27年3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～27年3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネバンドリ 1点
4月1日～27年3月31日	(公財)日本相撲協会 相撲博物館	泉淹福治使用の化粧廻し 1点 (酒師千代田 佐藤弘氏所蔵 当館寄託)
4月4日～6月15日	本間美術館	[応挙・燕村・吳春～鷺の穂～展]に松村景文「花鳥図」 1点
5月27日～11月7日	鶴岡市立藤沢周平記念館	[第6回企画『風の果て』の世界]に凌霜帖(模写) 5点
5月29日～7月31日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井重固筆 五絶「春日漫興」 1点
7月24日～9月24日	本間美術館	[旗で楽しむミュージアム美術館の動物たち]に棟方志功「御舜牛図」他 計4点
8月2日～9月30日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井弥平筆 二行書「桃李不言下自為蹊」 1点
9月10日～12月10日	山形県立うきたむ風土記の丘資料館	[弥生時代の山形]展に環状石斧・柱状片刃 計2点
10月3日～12月28日	史跡藩校致道館	展示資料として 白井弥平筆 五律 李白詩「送友人」 1点
10月 日～2月 月	鶴岡市立藤沢周平記念館	企画[庄内と教学]へ漢籍版本、『論語』・『大学・中庸』ほか 計10点
10月5日～11月13日	月山あさひ博物村	企画展[化石は語る～1700万年前の生き物たちと月山～]にナウマシゾウの臼歯化石、コイ科の化石ほか 計 6点
11月10日～11月28日	(公財)樹齋 土木学会	[創立100周年記念特展「土木と文明」]に大泉海岸湯野浜ヨリ観音崎迄ノ図 1点
1月5日～3月31日	史跡藩校致道館	展示資料として 菅基筆 「西王后」 1点
1月29日～3月 日	鶴岡アートフォーラム	企画展[シリーズ第10回 庄内の美術家たち10 追想・明治の絵師 加藤雪窓]に「管公御衣之図」、「老子之図」ほか 計3点
2月9日～2月16日	鶴岡市立藤沢周平記念館	企画[藤沢周平の誕生] の展示パネル作成のため『庄内美談』 1点
3月3日～朝日(予定)	塩竈市杉村惇美術館	[市民所蔵の杉村惇作品展]に杉村惇「最上川五月雨」 1点
3月12日～8月11日(予定)	東京都江戸東京博物館 京都府京都文化博物館	[創建慶祝大関ヶ原展]に県文朱塗黒糸威二枚胴具足・色々威二枚胴具足、黒塗交椅、黒塗軍配団扇 計 4点

#### 4. その他

月 日	主な事項
4月25日	地主正範元理事逝去(享年96歳)。

5月22日	文化庁北河大次郎調査官（防災担当）1名が来館、館内防火設備の現地視察。
5月29日	山形県文化県境部生活文化課より会計検査(平成25年度山形県博物館事業(展覧会費)共催負担金)
6月13日	山形県DCキャンペーン(9月13日迄)が始まり、「国宝太刀銘信房作・真光」展開催(7月17日まで)。
7月15日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業に際し、解体現場のマスコミ各社の取材。
9月 8日	文化庁豊城調査官来館、重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業に関する現地指導(翌10日迄)。
10月 8日	中村ゆかり氏重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業チャリティーコンサート(会場:グランドエクサン)。
10月27日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事(第1期)竣工検査。
11月11日	下妻卓夫元監事逝去(享年81歳)
11月17日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事(第2期)指名競争入札を実施、櫛山口工務店が落札。
11月21日	第1回重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画検討会 18名参
11月28日	第1回防火訓練(避難訓練)15名参加。夕方より本間美術館と姉妹館交流会(共催・新潟・山形) 25名参加
11月29日	松ヶ岡施設(開墾記念館・庄内農具館)の消防査察。
12月 9日	山形県教育委員会立会による重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事(第1期)完成検査。
12月15日	文化庁豊城調査官来館、重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業に関する現地指導(翌16日迄)。
12月16日	第2回重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画検討会 18名参加
12月18日	前夜からの大風により、重文旧西田川郡役所玄関風除室が倒壊(翌年1月5日に復旧)。
1月20日	重要文化財旧鶴岡警察署庁舎内敷地の試掘調査を実施(1月27日まで)。
1月23日	館内施設の消防査察
1月26日	第2回防火訓練(総合訓練・消火器の取扱い訓練) 15名参加
1月30日	第3回重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画検討会 16名参加
2月 8日	先賢を偲ぶの会 35名参加
2月17日	友の会世話人会 30名出席
3月14日	東京友の会のつどい(東京・江戸川区タワーホール船堀) 80名参加。
3月20日	金井功弥元評議員逝去(享年81歳)
3月26日	第4回重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存活用計画検討会 15名参加
3月30日	重文旧鶴岡警察署庁舎保存修理工事 26年度出来高検査。

## 資料一 入館者数(月別)

### ■致道博物館

月	年度	一般			学生		小中学生		招待	合計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者	友の会		
4月	26年度	1,544	305	413	20	0	111	0	33	2,426
	前年度	1,891	1,060	559	43	24	53	3	17	3,650
5月	26年度	2,860	992	356	191	88	187	0	116	4,790
	前年度	2,842	1,198	626	73	17	325	0	57	5,138
6月	26年度	2,407	1,429	481	38	3	94	0	27	4,479
	前年度	2,044	1,139	543	241	19	115	0	15	4,116
7月	26年度	2,333	966	316	44	93	118	0	132	4,002
	前年度	2,179	966	382	21	5	148	0	120	3,821
8月	26年度	3,665	751	424	210	10	320	0	23	5,403
	前年度	3,609	697	697	224	3	350	0	89	5,669
9月	26年度	2,572	2,169	330	79	0	135	0	59	5,344
	前年度	2,577	1,143	503	60	21	45	0	52	4,401
10月	26年度	2,879	2,360	374	69	30	107	0	27	5,846
	前年度	2,681	2,326	462	16	86	117	0	50	5,738
11月	26年度	1,827	1,218	545	38	74	615	0	241	4,558
	前年度	1,833	1,417	370	56	40	472	0	269	4,457
12月	26年度	250	256	148	1	0	26	0	23	704
	前年度	470	255	178	4	0	17	0	18	942
1月	26年度	304	27	248	9	0	279	0	16	883
	前年度	223	44	257	5	0	178	1	39	747
2月	26年度	380	76	213	8	1	37	0	10	725
	前年度	350	60	313	17	2	130	0	57	929
3月	26年度	2,541	339	1,278	88	1	126	0	274	4,647
	前年度	1,392	317	601	47	3	84	0	158	2,602
合計	26年度	23,562	10,888	5,126	795	300	2,155	0	981	43,807
	前年度	22,091	10,622	5,491	807	220	2,034	4	941	42,210

### ■松ヶ岡観覧施設

月	年度	一般			学生		小中学生		招待	合計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会	有料者	友の会		
4月	26年度	156	0	94	5	0	6	0	3	264
	前年度	93	37	59	0	0	2	0	7	198
5月	26年度	242	37	64	82	0	45	0	18	488
	前年度	146	0	54	65	0	8	0	9	282
6月	26年度	155	40	57	58	0	3	0	14	327
	前年度	115	110	146	226	0	9	0	6	612
7月	26年度	231	114	73	2	0	17	0	11	448
	前年度	83	0	50	2	0	3	0	5	143
8月	26年度	271	33	116	52	0	36	0	0	508
	前年度	213	0	78	32	0	19	0	2	344
9月	26年度	246	33	90	27	0	24	0	5	425
	前年度	179	20	63	17	0	3	0	3	285
10月	26年度	189	204	97	0	0	8	0	5	503
	前年度	117	25	67	1	0	5	0	7	222
11月	26年度	110	120	99	1	0	5	0	0	335
	前年度	83	65	46	0	0	45	0	19	258
12月	26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	11	0	0	4	0	0	0	28	43
1月	26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	26年度	82	20	46	2	0	4	0	0	154
	前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26年度	1,682	601	736	229	0	148	0	56	3,452
	前年度	1,040	257	563	347	0	94	0	86	2,387

## 資料－2 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,059	32,328	118,387
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
総計	4,565,429	1,319,434	5,884,863

\*1 昭和25年4月14日開館

\*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～12/31

\*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

\*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

### 資料-3 友の会会員数

	贊助会員	特別会員	普通会員	東京賛助会員	東京友の会員	学生会員	合計
平成26年度	242	108	1,352	67	200	2,225	4,194
平成25年度	248	121	1,462	70	209	2,211	4,321
増減	△ 6	△ 13	△ 110	△ 3	△ 9	14	△ 127

※小中生会員は平成25年度より廃止しました。

### 資料-4 新収蔵美術品

#### 【寄贈】

種類	作者名	作品名	制作年	材質・技法・形状	員数	寸法 cm
工芸		刀 銘 新藤五国光(黒漆塗 打刀拵)			1口	長さ:65.2、 反り:1.4
〃		脇差 銘丹後守藤原兼道 (突兵拵)			1口	長さ:60.0、 反り:1.0
〃		短刀 銘 道常(短刀拵)			1口	長さ:12.8
書	父幼 老卵	五言絶句「冬日……」		紙本・墨書・六曲屏風	1双	172.5×357.0
〃	柳澤 伯良	漁夫之辞・帰去来之辭	宝暦9年	紙本・墨書・六曲屏風	1双	172.5×357.0
〃	酒井 忠徳	和歌「瀧五月雨の句」		紙本・墨書・軸装	1幅	27.3×40.7
〃	土屋 竹雨	七言律詩「菅公」		紙本・墨書・軸装	1幅	138.5×54.2
〃	酒井 忠良	一行書「屢省乃成欽哉」		紙本・墨書・軸装	1幅	147.8×39.5
〃	松平 穆堂	七言対句「誰知黙々…」		紙本・墨書・軸装	1幅	129.3×32.0
〃	松平 穆堂	「雅人深致」		紙本・墨書・額装	1面	48.1×35.2
〃	江川 蒼竹	良寛詩「對君…」		紙本・墨書・軸装	1幅	137.7×34.3
〃	江川 蒼竹	三大字「喫茶去」		色紙・墨書・額装	1面	34.8×44.8
〃	江川 蒼竹	「夢」		色紙・墨書・額装	1面	27.2×24.2
〃	渡部 飛雲	二大字「遊神」		紙本・墨書・軸装	1幅	68.5×34.2
〃	渡部 飛雲	「默」		色紙・墨書・額装	1面	27.2×24.2
〃	渡部 飛雲	篆刻「浴殿西頭」		紙本・墨書・額装	1面	36.2×6.1
絵	杉村 悅	最上川五月		紙本・墨画・軸装	1幅	111.8×67.3
〃	齋藤 求	デッサン裸婦		色紙・スケッチ・額装	1面	32.0×46.0
〃	坂梨 心澄	時の風に乗って	昭和60年	キャンバス・油彩・額装	1点	P100号
〃	吉田 嵩	律C	平成20年	キャンバス・油彩・額装	1点	P100号
〃	成澤 翠映	桔梗の図		紙本・着色・軸装	1幅	40.1×36.2
〃	成澤 翠映	夏景墨画		紙本・墨画・軸装	1幅	136.0×234.2
〃	成澤 翠映	雀図		色紙・着色	2点	27.1×24.2
	成澤 翠映	金峯山		紙本・着色・額装	1点	17.2×18.5
	成澤 翠映	赤富士		紙本・着色・額装	1点	18.2×14.2
〃	成澤 翠映	田園		紙本・着色・額装	1点	18.2×14.2
	静村	兔図		紙本・着色・軸装	1幅	106.2×51.8
〃	伊藤 みさと	山麓 庄内		紙本・着色・額装	1面	50.0×65.3